

容器包装プラスチック ~リサイクルの流れ~

その1

株式会社テクノ・トランス (中間処理業者/鎌倉市)



①搬入
クリーンステーションから収集した容器包装プラスチックが施設に搬入されます。

すごい量だね



②破袋機・磁選機
選別をする前にごみ袋を機械で破き、磁力で鉄を除きます。

まきこまれるー



③人力による選別
鎌で袋を破きながら、資源化できないごみを人の手で取り除いています。

大変な作業だね
お手伝いします!



袋の中身をひとつひとつ手作業で分けています。皆さまの分別へのご協力をよろしくお願いします!



④圧縮・梱包
1個約280kgの立方体に圧縮梱包します。

1個の大きさは
1.3×1.1×1.1(m)

大きいなあ



作業の方からの
☆ひと言☆

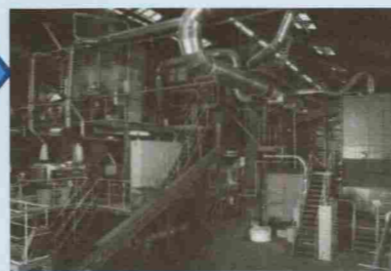
Ochibi © Moyoco Anno/Cork



搬送

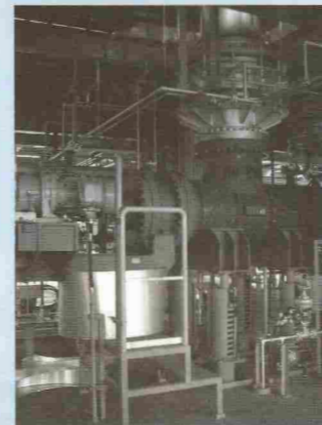
その2

昭和電工株式会社 (リサイクル業者/川崎市)

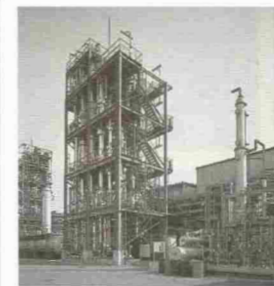


①破碎成形設備
搬入された容器包装プラスチックは破碎機で細かくされ、成形機により成形プラに加工されます。

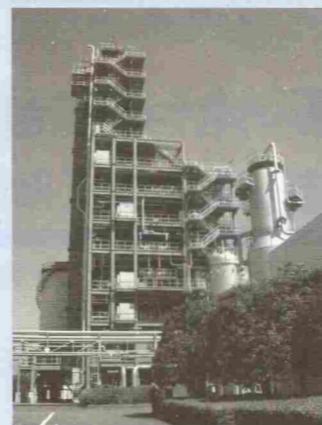
ここで生まれかわるんだね



②加圧二段式ガス化システム
成形プラは低温と高温の加圧二段式ガス化炉により、合成ガスに改質されます。



この工場では家庭から出される使用済プラスチックからアンモニアを製造しています。(日本容器包装リサイクル協会から処理を委託されています。)



③アンモニア製造設備
合成ガスは圧縮された後、隣接するアンモニア製造プラントへと送られ、最終的にアンモニアに生まれかわります。

身近な製品にリサイクルされます



アクリル繊維原料 ナイロン繊維原料 窒素系肥料



液化アンモニア



虫さされ薬

ふわふわ



色々な製品に使われています



危険物や異物を入れないで!



ライター 乾電池/はさみ スプレー缶 汚れた容プラ 生ごみ 医療廃棄物

これらの写真は、選別で出てきた容器包装プラスチック以外のものです。発火の恐れや腐敗や汚れの原因になりますので、絶対に入れないでください。

あぶないから
入れないで。



袋を二重、三重にしないで!



袋の中に、たくさんの小袋が入っていると、中身に異物が入っていないか確認するために全てを破袋しなくてはなりません。容器包装プラスチックは外袋1枚に入れて出してください。



協会による毎年の品質調査



危険品等の禁忌品が1つでも入っていたらD評価になります

日本容器包装リサイクル協会が容器包装比率、危険品等の有無により、A・B・Dの3段階で評価します。D評価が続くと、処理経費が鎌倉市の全額負担になる恐れがあります。(C評価はありません。)

Ⓜ 今年7月1日に、燃やすごみにカセットボンベが混入し、収集車の中で破裂する事故が発生しました。スプレー缶は使い切って、月1回の危険・有害ごみの日に出してください。